

## 第十六回 藤松ペトログラフィ



門司区藤松にあるペトログラフィ

### 地元高校考古学クラブ生徒が発見

文字は平成元年5月、大里高校考古学クラブの生徒たちがクラブ顧問の吉田信啓教諭（現・日本ペトログラフィ協会会長）の指導で周辺を調査していたが発見した。当時、関門

海峽を挟んだ下関市彦島でも巨石に刻んだ古代文字らしきものが多く見つかつており、「その文字を使っていた民族が下関に到来していたのなら門司にも痕跡が残っているのでは」が調査の発端だったという。

ところでペトログラフィとは、ギリシア語で岩石を意味するペトロ、文字、文様を意味するグリフの造語で世界的にはペトログリフと呼ばれる。大里高校生徒たちが発見したことを契機に、周辺の川や民家の祠、石垣などからも相次いで発見された。吉田教諭の研究で「地神墓」の岩に刻まれた文様は、「大地母神」「大地男神」を意味するシュメール文字だと確認でき、周辺で発見された岩の文様も同様だった。

一部で異論も  
誇り・ロマンは大

下関市では彦島杉田や彦島八幡宮などに所在、うち彦島杉田の岩に刻まれた文様は「彦島杉田岩刻画」として有形文化財に指定されている。もともと同市立考古博物館の浜崎真二副館長によると、文様のモチーフが九州の装飾古墳と類似性が認められること

シニアスタッフ 村田和夫

シニアスタッフ 村田和夫

シュメールはメソポタミア地方最南部のチグリス、ユーフラテス川の下流域で生まれた世界最古の文明。発現、消滅の経緯など詳細は諸説があるが紀元前2000年頃、アッカド系族によって追われ、姿を消した。海洋民族となつて環太平洋、環大西洋の各地に移住し、各地で見つかる岩刻文様は、彼らが自らの神の名などを彫つて折つたもの、などの説もある。彼らが使っていたのが楔形（くさびがた）文字。人類が現在使っている文字の源流で、シュメール人が世界各地に拡散していくとともに文字も各地で後世に引き継がれ、アルファベットなどの基礎になつたともいう。

藤松地区では「これら世界的に貴重な文明遺産、歴史が我が町にある事は、何よりの誇り。大切に守り後世に引き継がねば」と平成2年3月住民が中心になつて「藤松ペトログラフィ保存会」を結成し、九州市の協力で保存整備をし、講演会、研修会で学び、史跡探訪するなど活発に動いている。会長の宮原深海・藤松公民館長は「毎年、総会を開き勉強をしています。来年も研修旅行を計画。今後は会員の高齢化にどう対応するかが課題ですが」と意気はなお盛んだ。

などから重要な考古資料として平成3年5月に指定したのも。ペトログラフィとの関連性は多くの意見があり、市としては今後の研究結果を注視しているという。



藤松ペトログラフィ帯を清掃する保存会員

本記事作成中、吉田氏の訃報に接しました。心からご冥福をお祈りします。

## イベントカレンダー

10月	8日(土)	黒崎宿 秋のにぎわい祭り 10:00~19:00 八幡西区黒崎地区
	8日(土)	第54回 北九州市民体育祭総合開会式 総合体育館
	8日9日	エコライフステージ 2016 北九州市役所周辺広場
	12日(水)	やはた東 ふれあいまつり 響ホール
	15日16日	第58回 北九州小倉城まつり 9:00~17:00 小倉城天守閣前広場
16日~11/23	北九州国際音楽祭 響ホール・西日本工業倶楽部など	
11月	4日~6日	まつり起業祭八幡 大谷球場周辺
	5日6日	第12回八幡東田ウルトラ25時間駅伝大会 東田大通り公園
	6日(日)	筑前木屋瀬宿場まつり 10:00~16:00 八幡西区木屋瀬地区
	12日(土)	2016 動物愛護感謝デー in JAPAN 西日本総合展示場 あさの汐風公園
	19日20日	第30回北九州市農林水産まつり 9:00~15:00 北九州市総合農事センター
27日(日)	第34回門司港レトロマラソン 開会式 9:15 門司港西海岸	